

2015年3月期 第2四半期決算説明会



2014年11月17日

ユニチカ株式会社

1. 2015年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2015年3月期通期業績予想

- ・2015年3月期通期業績予想

補足資料

- ・事業構造改革の進捗
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業
- ・成長投資事業の重点強化商品

1. 2015年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2015年3月期通期業績予想

- ・2015年3月期通期業績予想

補足資料

- ・事業構造改革の進捗
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業
- ・成長投資事業の重点強化商品

業績の概要

売上高は「機能材事業」で増収となったが、不動産等の「その他」などで減収となり全体では減収。

営業利益は原燃料価格の上昇などを価格改定や商品構成の変更によりカバーし、前年同期比微増。

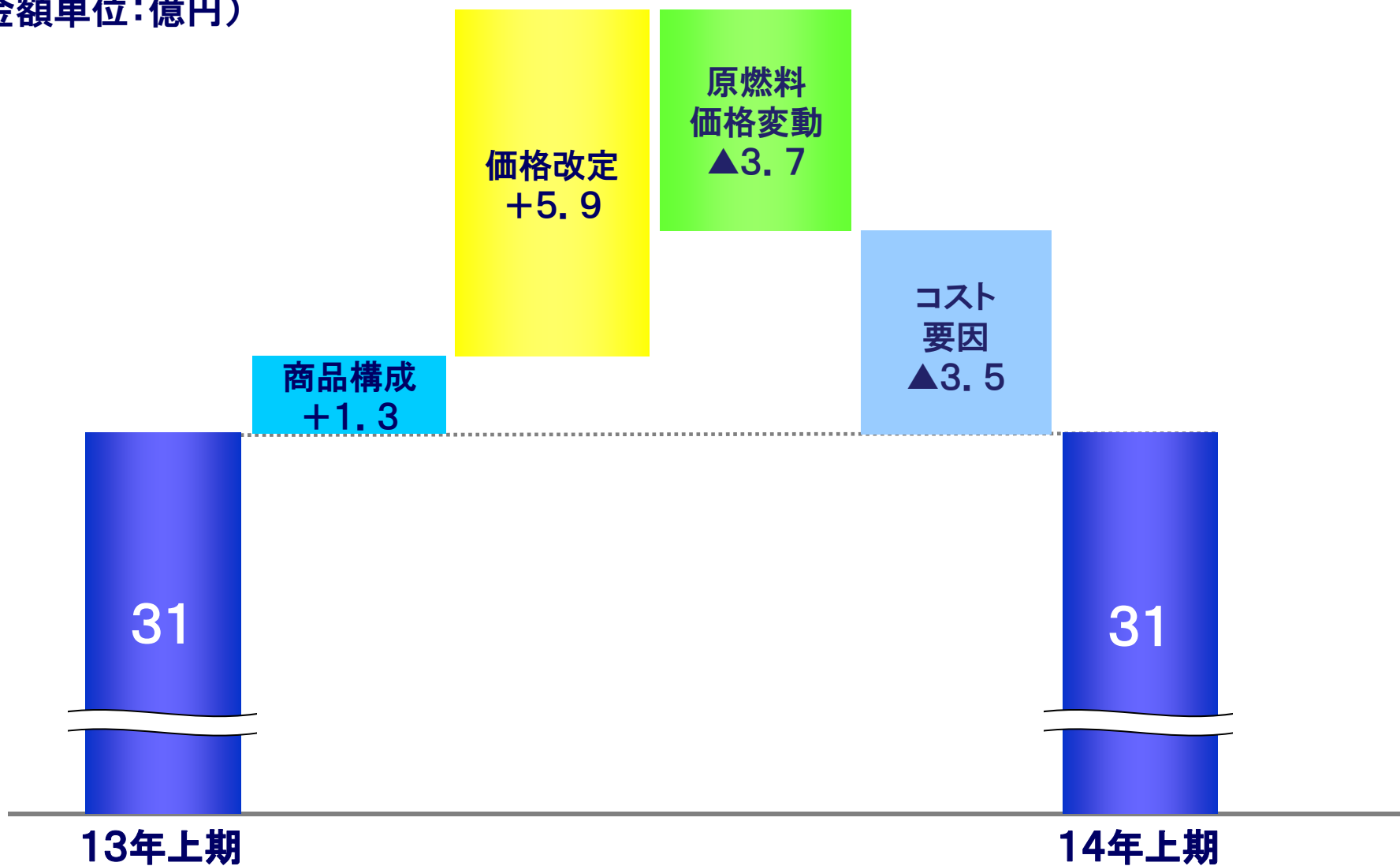
事業ポートフォリオ改革の一環として、事業構造改善費用を計上。

連結合計 (金額単位:億円)	13年上期 実績	14年上期 実績	前年同期比	
			金額	率
売上高	783	776	▲7	▲1%
営業利益	31	31	0	0%
経常利益	23	21	▲1	▲6%
当期純利益	16	▲216	▲233	—

セグメント別 (金額単位:億円)	13年上期 実績	14年上期 実績	前年同期比	
			金額	率
売上高	783	776	▲7	▲1%
高分子事業	325	323	▲2	▲1%
機能材事業	72	76	4	6%
繊維事業	325	325	▲0	▲0%
その他	61	52	▲9	▲15%
営業利益	31	31	0	0%
高分子事業	32	30	▲2	▲5%
機能材事業	9	9	1	7%
繊維事業	▲1	2	4	—
その他	5	2	▲3	▲67%
消去・全社	▲13	▲12	1	—

営業利益変動要因分析

(金額単位:億円)



資産・負債・純資産

(金額単位:億円)	2014年3月末	2014年9月末	増減
資産合計	2,542	2,410	▲131
流動資産	994	1,066	+72
固定資産	1,548	1,345	▲204
負債合計	2,348	2,048	▲300
純資産合計	194	363	+169
株主資本	192	346	+154
その他の包括利益累計額	▲37	▲20	+17
少数株主持分	38	37	▲1
有利子負債	1,646	1,359	▲287
自己資本比率	6.1%	13.5%	+7.4%

1. 2015年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2015年3月期通期業績予想

- ・2015年3月期通期業績予想

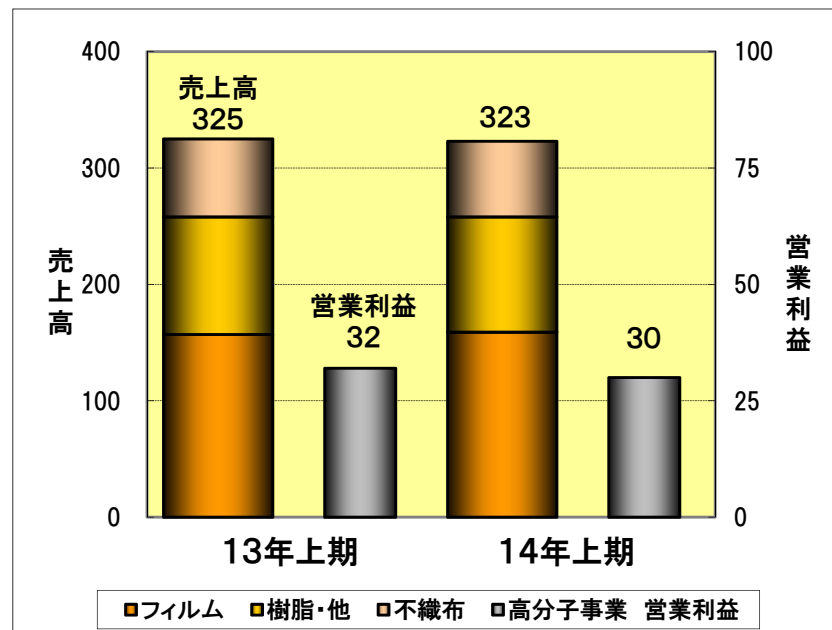
補足資料

- ・事業構造改革の進捗
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業
- ・成長投資事業の重点強化商品

高分子事業の状況

消費税増税後の影響で生活資材用途を中心に減収

(金額単位:億円)	13年上期	14年上期	増減
高分子事業 売上高	325	323	▲2
フィルム	157	159	2
樹脂・他	101	99	▲2
不織布	67	65	▲2
高分子事業 営業利益	32	30	▲2

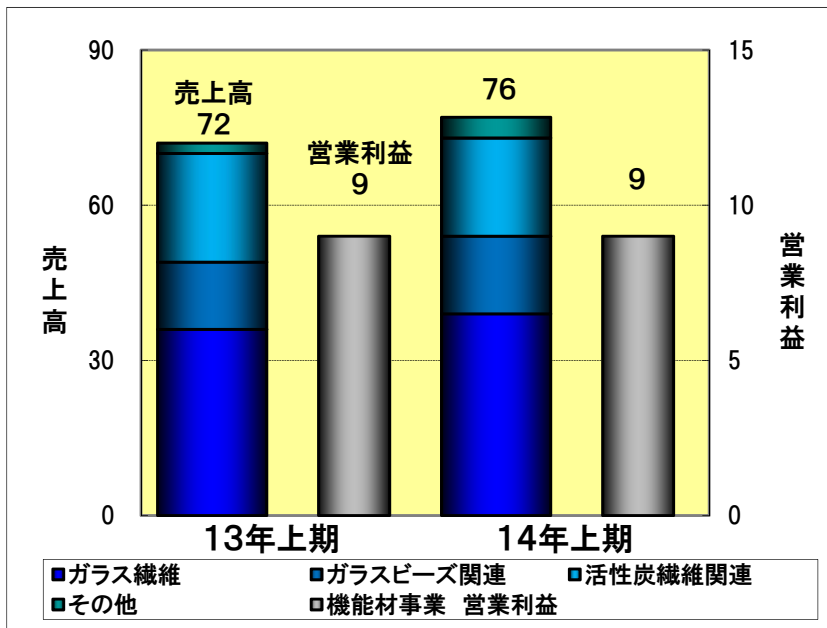


□フィルム 〔増収・減益〕	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 包装分野 消費税増税後の消費低迷の影響を受け、国内では販売数量が減少するもアジア向けは堅調に推移。 ◆ 工業分野 電気・電子機器用途の市況回復により、販売数量が増加。
□樹脂 ※ 〔増収・減益〕	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ナイロン樹脂 自動車用途が堅調に推移。 ◆ ポリアリレート樹脂「Uポリマー」 事務機器関連は堅調も情報端末機器用途では販売数量が減少。 ◆ 戦略アイテムの「アローベース」や「ゼコット」は用途展開が進展。
□不織布 〔減収・増益〕	<ul style="list-style-type: none"> ◆ ポリエステルスパンボンド 消費税増税後の市況低迷の影響を受け、生活資材用途を中心に売上げが減少。 ◆ コットンспанレース ウェットシート用途を中心に好調を維持。

※樹脂・他では減収減益

ガラス繊維が好調に推移し、増収増益

(金額単位:億円)	13年上期	14年上期	増減
機能材事業 売上高	72	76	4
ガラス繊維	36	39	3
ガラスビーズ関連	13	15	1
活性炭繊維関連	21	19	▲1
その他	2	4	2
機能材事業 営業利益	9	9	1



□機能材 [増収・増益]

◆ ガラス繊維・産業資材分野

建築・土木用途の防水シートなどを中心に堅調に推移。

◆ ガラス繊維・電子材料分野

ICクロスは、半導体やスマートフォン用途で超薄物タイプの販売が堅調に推移。

◆ ガラスビーズ

ロードマーキング用途で売上が減少するも、自動車向けなどの工業用途で増加。
反射材用途はシェアの回復に努め売上が増加。

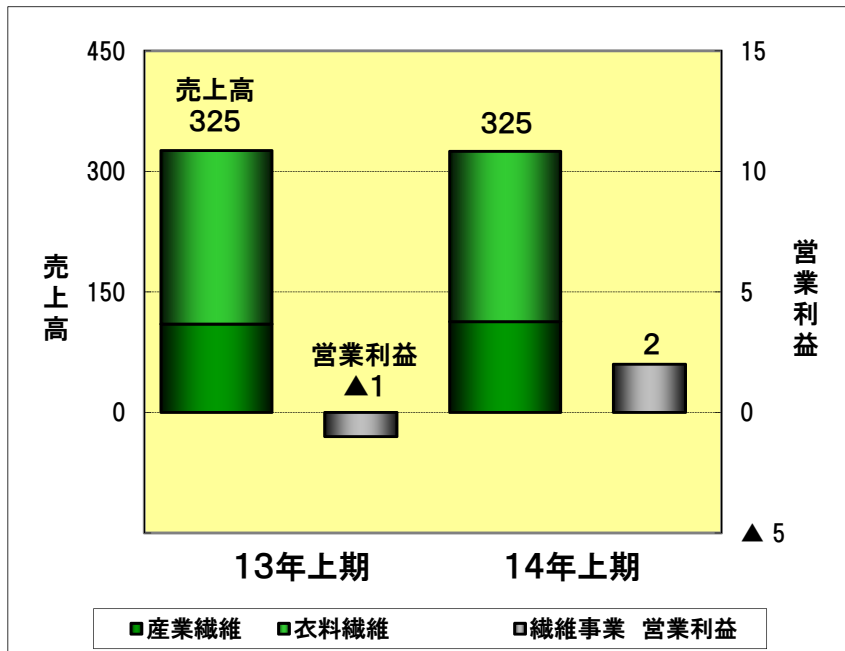
◆ 活性炭繊維

浄水器用途は引き続き堅調だが、自動車用途、空気清浄機用途などが低調に推移。

繊維事業の状況

産業繊維の収益が改善し、繊維事業は黒字転換

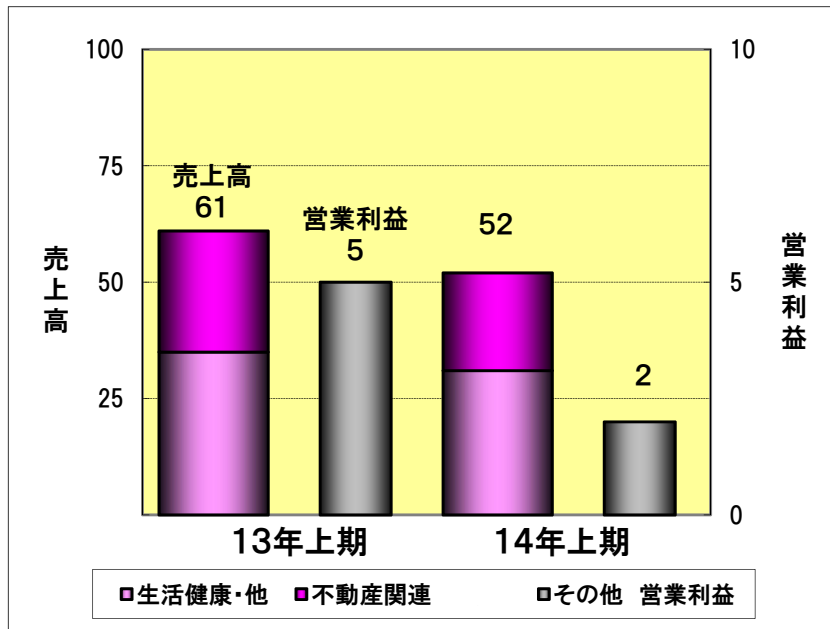
(金額単位:億円)	13年上期	14年上期	増減
繊維事業 売上高	325	325	▲0
産業繊維	110	113	3
衣料繊維	216	212	▲3
繊維事業 営業利益	▲1	2	4



<p>□ 産業繊維 〔増収・増益〕</p>	<p>◆ 産業繊維</p> <p>ポリエステル高強力糸は、主力の建築・土木分野で好調に推移。</p> <p>ポリエステル短繊維は、コスト削減施策や低採算製品の販売縮小などが奏功し収益は改善。</p> <p>ビニロン繊維は、アスベスト代替FRCで欧州及び新興国向けに高採算製品への販売転換を進め売り上げが増加。</p>
<p>□ 衣料繊維 〔減収・増益〕</p>	<p>◆ 衣料繊維</p> <p>ユニフォーム分野は、ワーキング用途の市況回復などにより売上が増加。</p> <p>レディス分野は、ニット素材を中心に堅調に推移したものの、スポーツ分野は国内市場で苦戦。</p>

一部開発用不動産の分譲中止により減収減益

(金額単位:億円)	13年上期	14年上期	増減
その他 売上高	61	52	▲9
生活健康・他	35	31	▲4
不動産関連	26	21	▲5
その他 営業利益	5	2	▲3



□その他 [減収・減益]

- ◆ **メディカル**
カテーテルは、循環系の新製品を中心に売上が増加。
酵素は海外向け売上が増加。
診断薬は在庫調整などにより売上減少。
- ◆ **生活健康**
「白幻鳳凰」などの健康食品が、消費税増税の影響により低調に推移。
セラミドを中心とした機能性食品原料や飼料原料は好調。
- ◆ **不動産関連**
一部の開発用不動産の分譲中止により、売上が減少。

1. 2015年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2015年3月期通期業績予想

- ・2015年3月期通期業績予想

補足資料

- ・事業構造改革の進捗
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業
- ・成長投資事業の重点強化商品

2015年3月期通期業績予想

成長戦略推進、事業ポートフォリオ改革の加速により公表数値を達成する

(金額単位:億円)	2014年3月期 実績	2015年3月期 予想	前期比 増減
売上高	1,627	1,650	23
営業利益	68	80	12
経常利益	47	60	13
当期純利益	6	▲370	▲376

下期与件	2015年3月期
原油(\$/バレル)	108
為替(円/\$)*	100

* 期中の為替変動には適宜対応し進捗をフォロー。

◆ 新中期経営計画の4つの施策

- 成長戦略の推進
- 事業ポートフォリオ改革
- 組織機能強化
- 財務体質の健全化

1. 2015年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2015年3月期通期業績予想

- ・2015年3月期通期業績予想

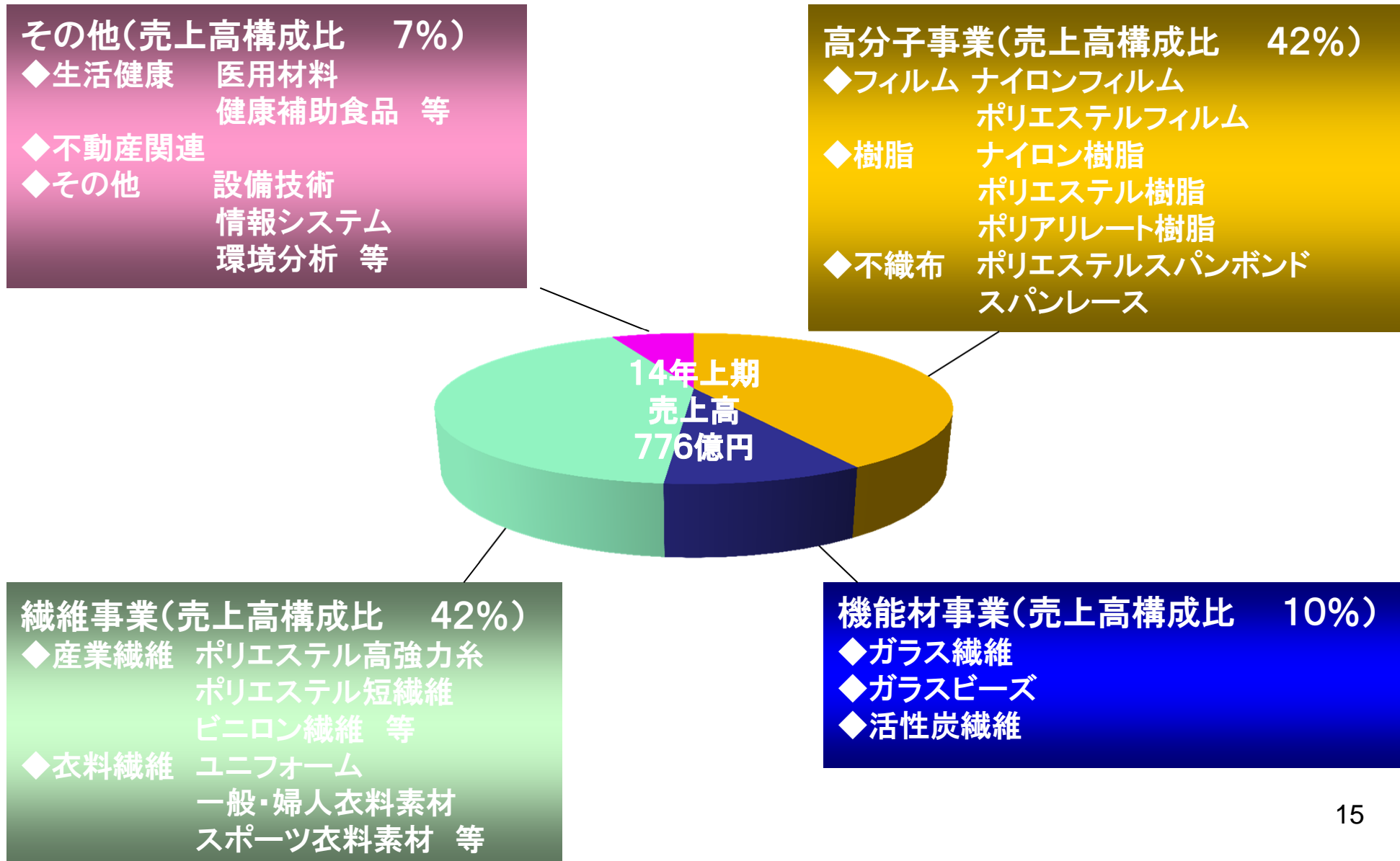
補足資料

- ・事業構造改革の進捗
- ・事業構成
- ・各事業セグメントの概要
- ・トップシェア・シェア優位事業
- ・成長投資事業の重点強化商品

事業構造改革の進捗

科目	内容	金額(億円)
事業構造改善費用	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 豊橋事業所に係る固定資産 ➤ 貝塚事業所に係る固定資産 ➤ (株)ユニチカゴルフング垂井にかかわる固定資産 ➤ ユニチカスピニング(株)の事業縮小に係る固定資産 ➤ 開発用不動産処分 <p style="text-align: right;">など</p>	201
減損損失	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ユニチカ赤穂開発(株)の固定資産 ➤ 坂越事業所に係る固定資産 <p style="text-align: right;">など</p>	29
		230

事業構成



	フィルム	樹脂	不織布
<p>主要製品 (用途)</p>	<p>包装</p>  <p>工業</p> 	<p>自動車部品</p>  <p>精密機器</p> 	<p>カーマット基布</p>  <p>生活雑貨</p>  <p>エルベスキャッピングシート</p> 
	<ul style="list-style-type: none"> ◇ナイロンフィルム ◇ポリエステルフィルム 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ナイロン樹脂 ◇ポリエステル樹脂 ◇ポリアリレート樹脂 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ポリエステルспанボンド ◇コットンспанレース

	ガラス繊維	ガラスビーズ	活性炭繊維
主要製品 (用途)	 <p>車両電照カバー</p>  <p>ICクロス (プリント配線基板用)</p>  <p>防水用・床材用ガラスクロス</p>	 <p>ロードマーキング</p>	 <p>活性炭繊維フィルター</p>

繊維事業の概要

	産業繊維	衣料繊維
主要製品 (用途)	 <p>産業資材用 ポリエステル繊維</p>  <p>ビニロン繊維 (セメント補強用途)</p>  <p>放射線遮蔽防水シート</p>	 <p>ユニフォーム</p>  <p>婦人衣料</p>  <p>スポーツ衣料</p>
	<p>◇ポリエステル高強力糸 ◇ポリエステル短繊維 ◇ビニロン繊維</p> <p>等</p>	<p>◇ユニフォーム ◇一般・婦人衣料素材 ◇スポーツ衣料素材</p> <p>等</p>

<p>主要 製品 (用途)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>抗血栓性 カテーテル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>創傷被覆保護材 ベスキチン</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>健康補助食品</p> </div>	 <p>マンション事業</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ヒーティング システム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ソフトウェア設計</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>放射能測定</p> </div>
	<p>◇生活健康 医用材料、健康補助食品 等</p>	<p>◇不動産関連</p>	<p>◇設備技術 ◇情報システム ◇環境分析 等</p>

トップシェア・シェア優位事業

※シェアは当社推定

	製品	国内 シェア	主な用途	当社の強み
高分子	ナイロンフィルム	50%弱 (1位)	食品包装用 (世界シェア1位)	同時二軸延伸技術 クイックデリバリー
	ポリエステルспанボンド	40% (1位)	自動車内装、建築、土木 農業資材、衛生材料、生活資材	複合繊維化技術
	コットンспанレース	60% (1位)	衛生材料、生活雑貨	バインダーレス 天然素材の風合い
	ポリアリレート樹脂	当社 独自	自動車部品、電気・精密機器部材	耐熱性・透明性
機能材	ガラスクロス(産業用)	30% (2位)	フィルター素材、FRP用、建築 土木資材	製織・製織技術
	ガラスビーズ	35% (2位)	各種反射材、工業用ビーズ	商品の品揃え
メディカル	ブラッドアクセスカテーテル	30%弱 (1位)	緊急時血液透析および血液浄化	抗血栓性素材

成長投資事業の重点強化商品

<p>フィルム</p>	<p>耐熱フィルム</p>		<p>ユニチカのフィルム加工技術を駆使して開発した高耐熱ポリアミドフィルム。 工業フィルムの差別化アイテムの一つとして、フレキシブル基盤関連分野を中心に採用活動を強化。</p>
<p>樹脂</p>	<p>XecoT (ゼコット)</p>		<p>熱可塑性耐熱ポリアミドの中で、耐熱性・結晶性・低吸水性・耐薬品性・耐摩耗性・電気特性・高品質のいずれをとっても世界最高レベルの性能を有するバイオマス由来樹脂。 中量産設備(500t/年)が稼働開始。 ユーザーへの本格採用へ向けた活動を加速。</p>
	<p>アローベース</p>		<p>界面活性剤を含有しない画期的な変性ポリオレフィン樹脂の水性分散体で、オレフィン系樹脂などとの密着性・耐水性・耐アルカリ性などに優れる。 ニーズに合わせたラインナップの拡充(機能性向上)で販売拡大を目指す。</p>
<p>不織布</p>	<p>Dilla (ディラ)</p>		<p>異型断面と高織度のポリエステル長繊維からなる高性能スパンボンド不織布。 剛性や通気性に優れ、フィルター用途をはじめ、産業・農業・生活資材用途へ幅広く展開が可能。</p>

ご注意

本資料中の予想は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいております。実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。